

明治美術学会 会員業績録

(2021年4月1日～2022年3月31日)

この春、会員に対し2021年4月1日～2022年3月31日の間に発表した主要論文等3点以内の報告を依頼した。以下がそのリストである。

名前	共著者、編者等	論文名/書名	掲載誌/掲載書	巻号	発行	刊行年月
荒井 経		日本絵画中白色顔料的歴史和用途	『2021中国伝統色彩学術年会 論文集』		文化芸術出版社(中国)	2021年11月
荒井 経		色彩分析における予測と発見	『国立歴史民俗博物館研究報告』	230集	国立歴史民俗博物館	2021年12月
荒井 経		《築地明石町》に秘められた技	『簞木清方 美人画集成』		小学館	2022年3月
荒屋鋪 透		開館1周年記念展から10周年記念展 の頃(あのころ、三重県美は……)	三重県立美術館ニュース 『HILL WIND49』	49	三重県立美術館	2021年10月
荒屋鋪 透		「ランス美術館コレクション 風景 画のはじまり コローから印象派へ」 展に寄せて	『中日新聞』(夕刊) 文化・芸能	2021年5月7日	中日新聞社	2021年5月
池田博子		横山大観筆《春光る(樹海)》につい て	『館報』	36号	公益財団法人 横山大観記念館	2022年3月
石井元章	池上俊一他	ボンポニオ・ガウリコ 青銅の鑄造 術について(第一章)	『原典イタリア・ルネサンス芸術 論』上巻		名古屋大学出版会	2021年6月
石井元章	手島 仁編	『藩宮前橋製糸所とスイス・イタリア』			上毛新聞社	2021年8月
石井元章	佐藤道信、五十嵐 公一など	『近代彫刻の先駆者 長沼守敬：史料と研究』			中央公論美術出版社	2022年3月
伊藤佳之		【研究報告】福沢一郎 旧蔵写真資料 について―滞欧期のアルバム(1)	『福沢一郎記念館ニュース』	54号	一般財団法人 福沢一郎記念美術財団	2021年10月
稲賀繁美		『矢代幸雄 美術家は時空を越えて』 (ミネルヴァ日本評伝選)			ミネルヴァ書房	2021年1月
稲賀繁美		マルローと世界美術史の構想	『アンドレ・マルローと現代』		上智大学出版会	2021年8月
稲賀繁美		ギメとレガメー 廃仏毀釈のなかでの 日本旅行の意義	『京都精華大学紀要』	55号	京都精華大学	2022年3月
井上由理		『ヴァーミリオンの女 画家 森田元 子の生涯』			平凡社	2022年3月
今西彩子	鶴見香織	『簞木清方美人画集成』			小学館	2022年3月
今西彩子	鶴見香織	『別冊太陽 簞木清方 市井に生き たまなごし』		日本のこころ 298	平凡社	2022年3月
今西彩子		「清方を巡る人々、出会いと制作」	『没後50年 簞木清方展』		毎日新聞社	2022年3月
今橋映子		『近代日本の美術思想―美術批評 家・岩村透とその時代』上巻			白水社	2021年5月
今橋映子		『近代日本の美術思想―美術批評 家・岩村透とその時代』下巻			白水社	2021年5月
岩切信一郎		旅・風景への誘い―川瀬巴水の世界	『旅と郷愁の風景・川瀬巴水』		ステップ・イースト	2021年10月
岩切信一郎		引札私考―近代印刷の中の引札―	『資料集 引札』		海の見える社美術館	2021年11月
岩切信一郎		耕漁考―能画・『風俗画報』と共に	『能画家耕漁―揺らめく煌めく能 の世界』		那珂川町馬頭広重美術館	2022年2月
岩間美佳		岸田劉生のエッチング連作「天地創 造」がもつ広がり ―「素描」と「装飾」をめぐる芸術 論と油彩表現への展開について―	『美術史論集』神戸大学美術史研 究会紀要	22号	神戸大学美術史研究会	2022年2月
植田彩芳子		小早川秋聲《國之楯》考―聖者とし て戦死者を描く	『美術フォーラム21』	44号	醍醐書房	2021年12月
植田彩芳子	東京ステーショ ンギャラリー、 鳥取県立博物館	『小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌 (レクイエム)』			求龍堂	2021年8月
植田彩芳子		小早川秋聲―《長崎へ航く》考―	『藝術文化雑誌 紫明』	50号	丹波古陶館・篠山能楽資 料館友の会	2022年3月
植野健造		白馬会の活動と絵画―主題と画風―	『白馬、翔びたつ―黒田清輝と岡 田三郎助―』		佐賀県立美術館	2021年9月

名前	共著者、編者等	論文名/書名	掲載誌/掲載書	巻号	発行	刊行年月
植野健造	植野健造、三谷理華、稲葉麻里子、野中耕介、松本誠一、秋山沙也子	特別展『白馬、翔びたつ—黒田清輝と岡田三郎助—』シンポジウム『黒田清輝と岡田三郎助、ふたりが日本美術界に残したもの』抄録	『調査研究書』	46集	佐賀県立博物館・佐賀県立美術館	2022年3月
内山かおる		研究ノート 呉春筆「白梅図屏風」考	『MUSEUM』	695号	東京国立博物館	2021年12月
江川佳秀		山下菊二 戦争体験と真摯に向かい合い、人類が繰り返す人権問題に思索を広げていった画家	『いのち輝く』	99号	とくしま"あい"ランド推進協議会	2022年1月
江口みなみ		ヒトラー政権の芸術政策と帝国日本の美術界	『美学』	72巻2号	美学会	2021年12月
遠藤太良		保田與重郎の西洋観——戦後の美術批評に着目して	『歴史文化社会論講座紀要』	19号	京都大学大学院人間・環境学研究科歴史文化社会論講座	2022年2月
遠藤みゆき	梅田拓也、近藤和都、新倉貴仁	写真は永遠か？ 「不朽写真」としての写真陶磁器	『技術と文化のメディア論』		ナカニシヤ出版	2021年11月
大久保辰真		松本俊介《街》連作における「カメラの眼」—寺田寅彦の映画芸術論を参照軸にして—	『近代画説』	30号	明治美術学会	2021年12月
大谷省吾	五十殿利治監 寺門臨太郎編	天と地をつなぐ光—石井コレクションの瑠九作品について	『筑波大学アート・コレクション 石井コレクション 美をめぐる饗宴』		筑波大学出版会	2021年8月
大谷省吾		『ニッポン新聞』にみる北脇昇の思考の軌跡（後編）	『東京国立近代美術館研究紀要』	26号	東京国立近代美術館	2022年3月
大谷省吾	五十殿利治、西澤晴美	山口勝弘日記1948-1955 解題	『戦後日本の前衛美術のクロス・レファレンス的研究 1945-1955 平成30年度～令和3年度科学研究費補助金（基盤研究(C)）研究成果報告書』		東京国立近代美術館	2022年3月
大谷芳久		時に坑いし者たち—私の小菩薩峠(39) これまでの流れについて（続）	『一寸』	86号	学藝書院	2021年7月
大谷芳久		時に坑いし者たち—私の小菩薩峠(40) これまでの流れについて（終）	『一寸』	87号	学藝書院	2021年12月
大谷芳久		時に坑いし者たち—私の小菩薩峠(41) 略奪文化財のゆくえ（一）	『一寸』	88号	学藝書院	2022年2月
大槻晃実		直観が作用するとき	『植松奎二 みえないものへ、触れる方法—直観』		芦屋市立美術博物館	2021年4月
大槻晃実		資料から村上三郎を紐解く	『限らない世界 村上三郎』		芦屋市立美術博物館	2022年3月
岡添瑠子		パレルモの「新しさ」について	『国立国際美術館ニュース』	242号		2021年10月
岡本隆志		やきもの王国・九州と近代の皇室	『皇室の名宝—皇室と九州をむすぶ美—』展図録		西日本新聞社、TVQ九州放送、日本経済新聞社、九州国立博物館	2021年7月
岡本隆志		明治陶磁と清朝陶磁	『三の丸尚蔵館年報・紀要』	27号	宮内庁	2022年3月
岡佳子		『平田職直日記』にみる十七世紀の公家の茶の湯	『藝能史研究』	235号	藝能史研究会	2021年10月
岡佳子		本阿弥光悦と加賀藩	『石川県九谷焼美術館紀要 九谷を拓く』	6号	石川県九谷焼美術館	2022年3月
岡佳子	戸村智子	資料紹介 福井紳公宛黒田重太郎葉書	『大手前大学史学研究紀要』	16号	大手前大学史学研究所	2022年3月
隠岐由紀子		新発見野浮世絵板絵4枚が教えてくれるウィーンをめぐるジャポニスム	『ジャポニスム研究』	41号	ジャポニスム学会	2022年3月
小野寛子		チェコ、絵本の源流： シスのアイデンティティを探って	『ピーター・シスの闇と夢』		国書刊行会	2021年10月
貝塚 健		藤島武二《東洋振り》：楯門のなかの中国、西洋、関東大震災	『公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館研究紀要』	2号	公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館	2021年12月

名前	共著者、編者等	論文名/書名	掲載誌/掲載書	巻号	発行	刊行年月
金子一夫		贈与交換システム論的美術教育学の交換と教材の層的構造 —言語記号論的・時間論的考察—	美術科教育学会誌『美術教育学』	43号	美術科教育学会	2022年3月
金子一夫		子どもの論理による美術教育思想の研究1 —長期連載・西野範夫「子どもがつくる学校と教育」の検討—	『美術教育学研究』	54号	大学美術教育学会	2022年3月
金子一夫	有田洋子	絵本の美術的本質と美術教育的意義としての場面転換	『美術教育学研究』	54号	大学美術教育学会	2022年3月
河上眞理		辰野金吾—〈美術建築〉を目指して	『機』	349号	藤原書店	2021年4月
河上眞理		イタリアにおけるラグーザ・玉再考—池田記念美術館所蔵「木村毅旧蔵ラグーザ・玉関係資料」の小野七郎の書簡及び『お玉夫人回想談』から—	『京都芸術大学紀要 Genesis』	25号	京都芸術大学	2021年9月
河田明久		タブローへの道—昭和初期洋画における「脱・大正」の試み	『近代画説』	30号	明治美術学会	2021年12月
河田明久		「戦時の社会」と戦争画—日中戦争から太平洋戦争へ	『ひょうご部落解放』	182号	ひょうご部落解放・人権研究所	2022年3月
菅野洋人		明治期『時事新報』絵付録と信陽堂について	『福澤論吉年鑑』	48号	一般社団法人福澤論吉協会	2021年12月
菅野洋人		さよならだけが人生だ 追悼・村田哲朗先生	『美連協ニュース』	151号	美術館連絡協議会事務局	2021年8月
木田拓也		工芸史から紐解く『南蛮焼』	『淡交』	75巻8号	淡交社	2021年8月
木田拓也		地場産業と工芸デザイン：イサム・ノグチの《AKARI》を中心に	『対話空間：CITY BEAUTIFUL』		名古屋造形大学	2022年3月
木下直之	東京大学文化資源学研究室	集中講義「猥褻論」	『文化資源学』		新曜社	2021年10月
木下直之		義足考 1867-1905	『近代画説』	30号	明治美術学会	2021年12月
木下直之		気になる風景	『高校生と考える新時代の争点21』		左右社	2022年3月
呉 孟晋		国をうごかす動物たち：民国期中国における嶺南画派の猛獣・猛禽画について	『美術フォーラム21』	44号	醍醐書房	2021年12月
呉 孟晋	板倉聖哲 塚本磨充	「旧王孫」か紡いだ詩画の緑：溥儒と須磨弥吉郎、そして伊藤紫虹の「合作」について	『コレクションとアーカイヴ：東アジア美術研究の可能性』		勉誠出版	2022年1月
呉 孟晋		交友と協業のコレクション：野崎家と森家にある来船清人の書画について	『関西中国書画コレクション研究会設立十周年記念国際シンポジウム報告書 中国書画コレクションの時空』		関西中国書画コレクション研究会	2022年3月
桑原規子		斎藤清の芸術—国際性と地方性	『聖徳大学言語文化研究所・論叢』	29号	聖徳大学言語文化研究所	2022年3月
児島 薫		鷗外と文展	『観潮楼の逸品—鷗外に愛されたものたち』		文京区立森鷗外記念館	2021年4月
児島 薫		藤島武二《画稿帖》について	『実践女子大学美学美術史學』	36号	実践女子大学美学美術史学科	2022年3月
小寺瑛広	島村直子 (共編著者)	『カドミウム・イエローとブルッシュヤン・ブリュー 島村洋二郎のこと』			未知谷	2021年12月
小寺瑛広		松戸徳川家「道具」の形成過程	『プリンス・トクガワ 改訂版』		松戸市戸定歴史館	2021年5月
小寺瑛広		心の日仏交流—徳川昭武とウージェニー皇后	『華麗なる明治 宮廷文化のエッセンス』		茨城県立歴史館	2022年2月
後藤秀聖	青木茂	画家たちの言葉—日本画を語り継ぐ、膠と表現を識る	『膠を旅する』		国書刊行会	2021年5月
後藤秀聖		「原爆の図」を描くために—表現と技法の展開	『広島市立大学芸術学部日本画研究室：日本画制作の現場V 丸木位里 丸木俊展』		広島市立芸術学部日本画研究室	2021年10月

名前	共著者、編者等	論文名/書名	掲載誌/掲載書	巻号	発行	刊行年月
小林俊介		Rouault's reception by modern Japanese Western-style painters - From the perspective of technique/expression	<i>Georges Rouault and Japan, A Shared Spirit and Sense of Art</i>		Panasonic Shiodome Museum of Art	2021年10月
坂口英伸		研究者と巡るセメント美術⑧ 花井探嶺	『コンクリート新聞』	2626	コンクリート新聞社	2021年12月
坂口英伸		近現代日本におけるセメント美術の歴史 (1) セメント美術の誕生と発展	『CEM'S』	89	太平洋セメント株式会社	2021年7月
坂口英伸		研究者と巡るセメント美術⑨ メタリコン	『コンクリート新聞』	2639	コンクリート新聞社	2022年3月
迫内祐司		解説 生誕140年 小杉放菴 所蔵名品撰	『下野新聞』	2021年10月9日	下野新聞社	2021年10月
佐藤一郎		東京美術学校「西洋画科」「油画科」、東京藝術大学「油画専攻」一平成の現況	『平成の洋画』		美術年鑑社	2021年6月
佐藤一郎		絵画という科学	『美術年鑑2022 (令和4年版)』		美術年鑑社	2021年12月
佐藤一郎		デッサンとは何か?	『美術の窓』	461号	生活の友社	2022年1月
佐藤志乃(横山大観記念館)		「美術使節」としての横山大観—昭和期を中心に—	『LOTUS』	42号	日本フェノロサ学会	2022年3月
澤田佳三		福富太郎コレクションにおける戦争画	『コレクター福富太郎の眼 昭和のキャバレー王が愛した絵画』		アートワン	2021年4月
猿渡紀代子		ポール・ジャクレと軽井沢	『ポール・ジャクレ—全木版画展』図録		軽井沢町教育委員会	2021年8月
猿渡紀代子 細井聖		画家・笠木治郎吉が生まれたところ	『朝焼けと狩人—幻の画家、笠木治郎吉の生涯』		かまくら春秋社	2022年3月
塩谷 純	伊藤史湖、田中潤、齋藤達也	書簡にみる黒田清輝・久米桂一郎の交流 (二)	『美術研究』	434号	東京文化財研究所	2021年8月
塩谷 純	伊藤史湖、田中潤、齋藤達也	書簡にみる黒田清輝・久米桂一郎の交流 (三)	『美術研究』	435号	東京文化財研究所	2021年12月
塩谷 純		近代日本画の“新古典主義”再考	『近代画説』	30号	明治美術学会	2021年12月
篠原 聡		鏑木清方筆《色の港》	『紫陽花』	5号	美人画研究会	2021年8月
篠原 聡		文芸的な、あまりに文芸的な美人画	『芸術新潮』	73巻4号 通巻868号	新潮社	2022年3月
篠原 聡		鏑木清方とその弟子たち	『鏑木清方 美人画集成』		小学館	2022年3月
清水恵美子		岡倉天心消息の紹介 (2)	『ひととぎ草』	138号	江戸千家連合不白会	2021年4月
清水恵美子		岡倉天心消息の紹介 (3)	『ひととぎ草』	139号	江戸千家連合不白会	2021年9月
清水恵美子		岡倉天心消息の紹介 (4)	『ひととぎ草』	140号	江戸千家連合不白会	2022年2月
鄭 相妍		妖怪としての狐 —来日西洋人の言説を中心に—	『LOTUS』	42号	日本フェノロサ学会	2022年3月
白石恵理	北海道大学芸術学研究室編	蓮月と松浦武四郎 —京と蝦夷、文化・情報の邂逅—	『アートと、そのあわいで——北村清彦教授北大退職記念論集』		中西出版	2021年5月
白石恵理		Fictitious Images of the Ainu: Ishu Retsuzo and Its Back Story	<i>Japan Review</i>	Vol. 36	International Research Center for Japanese Studies	2022年2月
菅原真弓	神谷浩、前田詩織	『最後の浮世絵師 月岡芳年』			青幻舎	2021年4月
菅原真弓		豊国にかほ 国芳むしや 広重めいしよ—当代の名手が描く木曾街道—	『浮世絵木曾街道三種踏踏』		中山道広重美術館	2021年8月
菅原真弓	高浜快斗	『浮世絵芸術』に見る浮世絵研究の動向分析—テキストマイニングの手法を用いて—	『文化資源学ジャーナル』	1号	大阪市立大学文化資源学会	2022年3月
鐸木道剛		ハワイのセルビア人画家 パーヴェル・ペトロヴィチ —宮内庁三の丸尚蔵館のペトロヴィチ画『布哇皇帝之像』—	『ヨーロッパ文化史研究』	23号	東北学院大学ヨーロッパ文化総合研究所	2022年3月
鈴木廣之	福岡真紀訳	<i>Antiquarians of Nineteenth-Century Japan: The Archaeology of Things in the Late Tokugawa and Early Meiji Periods</i>			Getty Research Institute	2022年2月

名前	共著者、編者等	論文名/書名	掲載誌/掲載書	巻号	発行	刊行年月
関直子		光を透す布 —マティスの礼拝堂と1951年の展覧会—	『ユリイカ』	53巻5号	青土社	2021年5月
関直子		桂ゆきの紅絹 —1985年の滑稽な膜—	『早稲田大学大学院文学研究科紀要』	67輯	早稲田大学文学学術院	2022年3月
染谷滋		柔和な眼差しの奥に —岩崎孝の人生と画業—	『岩崎孝作品集』		岩崎孝作品集編集委員会	2021年7月
染谷滋		シャンソンのように —島崎庸夫の画業—	『島崎庸夫画集』		島崎庸夫先生画集刊行米寿記念展覧会実行委員会	2022年1月
高木博志		社会を描く—笠木治郎吉「下校の子どもたち」と星野画廊	『企画展示 学びの歴史像』		国立歴史民俗博物館	2021年10月
高木博志		寿岳文章と向日庵本の時代	『向日庵』	5号	NPO法人向日庵	2022年3月
高木博志		京都時代、竹久夢二のロマン主義と花街・遊郭	『竹久夢二研究』	3号	竹久夢二学会	2022年3月
滝沢恭司		『もっと知りたい 川瀬巴水と新版画』			東京美術	2021年6月
滝沢恭司		「主な画家と版元の関係図」ほか 新版画家・作品解説	『東京人』	No. 451	都市出版	2022年3月
滝沢恭司		版表現で見る現代美術の動向	『現代の眼』	636号	東京国立近代美術館	2022年3月
田島奈都子		「映画の人気と戦前期の日本製ポスターとの関係～映画雑誌を中心に～」	『インテリジェンス』	No. 22	20世紀メディア研究会、文生書院	2022年3月
立花義彰		台湾近代美術年表6～9	『西藏寺報』	73～76号	西藏寺	2021年7月～22年3月
田中修二		「彫刻のさわり方」 「遊歩公園の彫刻について」	『彫刻をさわる時間—彫刻をさわる場所をつくる』		大分大学教育学部美術講座	2021年10月
田中修二	戸田裕介編	人体像の表面の向こうになにをみるか	『ぺらぺらの彫刻』		武蔵野美術大学出版局	2021年11月
田中修二	田中修二監修、篠崎未来編	『屋外彫刻メンテナンスハンドブック』			大分大学教育学部 田中修二研究室	2021年8月
田中純一朗		やまと絵画家・高取稚成の画業について	『近代画説』	30号	明治美術学会	2021年12月
田中純一朗		作品紹介 池上秀敏《國之華》について	『三の丸尚蔵館年報・紀要』	27号	宮内庁三の丸尚蔵館	2022年3月
田中秀隆		近代茶道と岡倉天心の位相	『茶の湯文化学』	37	茶の湯文化学会	2022年3月
田中秀隆		『お茶と権力』			文藝春秋	2022年2月
丹尾安典		中村彝に宛てた會津八一の葉書のことなど	『早稲田大学會津八一記念博物館紀要』	23号	早稲田大学會津八一記念博物館	2022年3月
丹尾安典		月映のむくろ 須永私信披閱記	『ユリイカ 総特集 須永朝彦 1946-2021』	通巻779号	青土社	2021年10月
丹尾安典		原撫松の日記 明治三十六(1903)年	『一寸』	87号		2021年12月
辻泰岳	Subin Xu, Nobuo Aoki and Bebica Vieira Amaro eds.	Displaying the Phenomenal City: The Installations of the 1975 Shinjuku Exhibition at the Museum of Modern Art in New York	<i>East Asian Architecture in Globalization</i>		Springer	2021年6月
辻泰岳	Raffaele Pernice ed.	This is Your City: The Pop Future Foretold by Metabolism	<i>The Urbanism of Metabolism</i>		Routledge	2022年3月
角田拓朗		明治期輸出美術の構造と特徴 —大倉孫兵衛を焦点として—	科学研究費成果報告書『近代日本美術史における大倉孫兵衛の活動に関する総合的調査研究』		神奈川県立歴史博物館	2022年3月
角田拓朗		明治期図画手工教育の地方実状 市村才吉郎を事例として	科学研究費成果報告書『明治期図画手工教科書データベースの充実と活用に基づく教科横断的学習の史的的研究』		岡山大学・神奈川県立歴史博物館	2022年3月
富田章		「福富太郎の美人画観—梶田半古を中心に」	『コレクター福富太郎の眼 昭和のキャバレー王が愛した絵画』		アートワン	2021年4月
富田章		名所と月 小早川秋聲のヨーロッパ	『小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌 (レクイエム)』		求龍堂	2021年8月

名前	共著者、編者等	論文名/書名	掲載誌/掲載書	巻号	発行	刊行年月
富田 章		『牧歌礼讃／楽園憧憬 アンドレ・ポーシャン＋藤田龍児』			東京美術	2022年3月
中野慎之		藤田傳三郎と日本美術史	『名画の殿堂 藤田美術館展—傳三郎のまなざし—』		奈良国立博物館	2021年12月
中野慎之		新古典主義と岸田劉生	『近代画説』	30号	明治美術学会	2021年12月
中野慎之		朦朧体の再検討	『京都美学美術史』	3号	京都美術史学会	2022年3月
永宮勤士		福地靖とROZO群、そして茨城の戦後美術	『福地 靖 YASUSHI FUKUCHI WORKS 1956-2010』		福地靖作品集刊行会	2022年2月
西山純子		前川千帆—木版画の仕事を中心に	『平木コレクションによる 前川千帆展』		千葉市美術館	2021年7月
西山純子		新版画への誘い	『千葉市美術館所蔵 新版画—進化系UKIYO-Eの美』		日本経済新聞社	2021年8月
橋 秀文		須田国太郎にとってのスペイン	『美術フォーラム21』	43号	醍醐書房	2021年6月
橋 秀文		水量墨章—深淵なる世界—④ 小泉淳作	『墨』	271号	芸術新聞社	2021年8月
橋村直樹	八田真理子	柚木玉郎・久太・祥吉郎—柚木家三代の絵画と精神	展覧会カタログ『柚木玉郎・久太・祥吉郎—柚木家三代の絵画と精神』		岡山県立美術館	2021年5月
橋村直樹		坂田一男研究—1936年の2冊の画帖について	『岡山県立美術館紀要』	12号	岡山県立美術館	2022年3月
林 みちこ		展覧会評：Drawing on Nature: Taki Katei's Japan (World Museum, National Museums Liverpool / 4 October 2019 to 13 April 2020)	『藝叢』	37号	筑波大学芸術系美術史研究室	2022年3月
原田平作		須田国太郎の作風と福田平八郎の作風	『視る』	511号	京都国立近代美術館	2021年6月
原田平作		裏表紙解説、河嶋渉《ある日の事》	『美術フォーラム21』	43号	醍醐書房	2021年6月
原田平作		裏表紙解説、赤木美紀《虚像のはかりごと》	『美術フォーラム21』	44号	醍醐書房	2021年12月
廣瀬就久		わきあがる色と形に惹かれて（「柚木沙弥郎」と「染織の教育に関するインタビュー」）	『「柚木沙弥郎」と「女子美工芸の教育」に関する調査研究報告書』		学校法人 女子美術大学	2022年3月
藤井 明		神社と彫刻が生み出す磁場 彫刻展『気韻生動』に寄せて	『神宮の杜芸術祝祭 気韻生動—平櫛田中と伝統を未来へ継ぐものたち』		一般社団法人アートパワーズジャパン	2021年8月
藤井 明		橋本堅太郎 歩み続けた彫刻の道	『美術の窓』	456号	生活の友社	2021年9月
牧野由理		明治・大正期に発行された玉川大学教育博物館所蔵歴史掛図に関する検討	『美術教育学』	43号	美術科教育学会	2022年3月
増井敦子		遠州の民藝運動—蒐集と展示を中心に—	『遠州の民藝展』		浜松市美術館	2021年5月
町村悠香	池田俊彦、渡辺千尋、中林忠良、野田哲也	南島原の地で版画史の針を進めること—渡辺、中林、野田の実践から	『Line position diary 渡辺千尋 中林忠良 野田哲也 版画展』		南島原市教育委員会生涯学習課南島原市アートビレッジ・シラキノ	2021年4月
宮下規久朗		『名画の生まれるとき—美術の力II』			光文社	2021年10月
宮下規久朗		『聖母の美術全史—信仰を育んだイメージ』			筑摩書房	2021年6月
宮下規久朗 佐藤 優		『美術は宗教を超えるか』			PHP研究所	2021年6月
宮本高明		(株)東京美術倶楽部、アートの価格、そしてカタログ・レゾネ	『須田記念 視覚の現場』	6号	きょうと視覚文化振興財団	2022年3月
向井晃子		天作会という場のありよう—異質な他者との共存	『六月の風』	273号	Unac Tokyo	2021年12月
武藤隼人		『武藤完一研究① 再録 武藤完一の『版画手本』』			自費出版	2022年3月
村田隆志		「木鳥櫻谷の胸中—画壇の顕者から隠者へ、そして山中へ—」	『木鳥櫻谷—極めて魅せた「おうこくさん」』		福田美術館	2021年10月

名 前	共著者、編者等	論文名/書名	掲載誌/掲載書	巻 号	発 行	刊行年月
村田隆志		『日本南画院における理念と画技の 伝承—オーラル・アート・ヒストリー の手法を用いて—』			大阪国際大学国際教養学 部	2022年3月
村田隆志		『『日本南画院設立記念冊』に見る戦 後の南画壇の動向』	『国際研究論叢』	35巻3号	大阪国際大学	2022年3月
森 芳功		三宅克己の画業と生涯(十)—印象 主義をめぐる文学者たちとの交流	『徳島県立近代美術館研究紀要』	22号	徳島県立近代美術館	2022年3月
森谷美保		明治期横浜の陶磁器商 井村彦次郎商店	『陶説』	816号	日本陶磁協会	2021年5月
森谷美保		美の十選 世界を魅了 明治の焼き 物(1)~(10)	『日本経済新聞』			2021年7月
安松みゆき		勲章と1939年「伯林日本古美術展覧 会」—丸尾彰三郎の遺品・勲章に注 目して	『別府大学大学院紀要』	24号	別府大学大学院	2022年3月
安松みゆき		ナチス時代の体制派美術の問題(2) —風景画のテーマに注目して	『別府大学紀要』	63号	別府大学	2022年3月
柳田さやか		日本書道史関連の研究動向 (二〇一九・二〇二〇年度)	『書学書道史研究』	31号	書学書道史学会	2021年10月
柳田さやか		「三色紙」の呼称と評価の変遷	『大学書道研究』	15号	全国大学書道学会	2022年3月
柳田さやか		手紙の書式に表現された「相手意識」 の理解—奈良・平安時代の書状を学 習材として—	『日本教育大学協会全国書道教育 部門 研究紀要』	27号	日本教育大学協会全国書 道教育部門	2022年3月
柳原一徳	神戸市立小磯記 念美術館編	(コラム) 日本近代洋画に生きるフラン ス・アカデミスム —コラムとローランスの場合	『住友コレクション名品選 フラ ンスと日本近代洋画展』図録		神戸新聞社	2021年9月
柳原一徳		石橋和訓作《石橋由三郎肖像》をめぐ って	『島根県立美術館研究紀要』	3号	島根県立美術館	2022年3月
山浦健夫		柳宗悦と越後の木喰仏調査を手伝っ た柏崎文人	『新潟県文人研究』	24号	越佐文人研究会	2021年11月
山浦健夫		《若きカフカス人》と旧制新潟高等学 校—中原梯二郎を支えた妻信の愛—	『碌山美術館報』	42号	(公財) 碌山美術館	2022年3月
山口順子		下岡蓮杖筆《函館戦争油画》の考察 —中島三郎助肖像写真とともに	『近代画説』	30号	明治美術学会	2021年12月
山口順子		宮武外骨編著『公私月報』に「女権」 を掘り起こす	『メディア史研究』	51号	メディア史研究会	2022年2月
吉井大門		美術の眼、考古の眼、観者の眼をめぐ る一断層	企画展『美術の眼、考古の眼』		横浜市歴史博物館	2022年1月
吉井大門		山川秀峰の生涯と画業 —表現の模索から舞踊画へ	『成城美学美術史』	28号	成城美学美術史学会	2022年3月
李 趙雪		新“文人画”的理想—20世紀 30 年代的黄山主题“国画” The Ideal Composition of Guohua: The Neo-“Literati painting” on the Subject of Mount Huang in the 1930s China	美術大観 Art Panorama	2021年9期	遼寧美術出版社 Liaoning Fine Arts Publishing House	2021年9月
渡部周子		少年少女小説に見るジェンダー規範 —佐藤紅緑を事例として—	『島根県立大学松江キャンパス研 究紀要』	61号	島根県立大学人間文化学部、 島根県立大学短期大学部 [編]	2022年2月